

寺
こよみ

四月

一日 お講・下村

八日 雪ん子劇団新学期
只今団員募集中。

浦山以外の方でも気軽にどうぞ。

一六日 お講・栗虫

二〇日 お寺の学校修了式

入校式

二一日 チューリップの花がさり
慶びの春 花の誕生会

おしゃかさま、親らん
さま、そしてご先祖や
おじいさん、おばあさ
ん、お父さん、お母さん、
子や孫の誕生をよろこ
ぶ法会です。この一年
間に生まれた赤ちゃん
の初参式を行います。
初参式の申込み受付中。
受式料は三千円。お寺
まで電話で。

寺報 善巧

発行
〒938 富山県下新川郡
宇奈月町浦山497
白雪山 善巧寺
TEL・FAX (0765) 65-0055
TEL オテラザ 65-0975

四月二十一日午前十時より
第 15 回 慶びの春
花の誕生会
初参式、チューリップ、緑日
家族そろってお参り下さい。



善巧寺に集う若人たち —— 雪ん子とOBGと育てる会 ——

わたくしごとで恐縮ですが、私は今年八十才になりました。こんなに永く生きるとは夢想もしていませんでした。三年前、喜壽を迎えたとき不図、母の五十回忌が近いことに気付き、父のも繰り上げて、両親の五十回忌法要を営み度いと願うようになりました。此の事を、「若はん」に相談したところ、善巧寺開基上人の五百回忌も一緒に勤めたらと云う話になりました。そこで、法要記念事業の話となり、鐘樓も経蔵も、老朽が甚だしく是非改築し度いと二人で話し合いました。この事は、勿論門徒の方々にも図らねばなりません。総代会議を何回か開いた結果、多額の拠出を申し出て下さる有志もあり、皆様の御同意を得る運びに至りました。昨年工事に着手し、有難い御愁志も着々と集まり、あと二ヶ月で竣工と云う段階で若はんの逝去と云う悲しいことが起りました。今年は、其の一周忌に当たります。新鐘樓、門徒会館の建設に当っては、その構想から細部に至るまで、若はんのアイディアに拠る所が多く、竣工を見ないで亡くなったことは何よりも残念なことでした。

平成三年九月下旬に門徒会館、鐘樓竣工記念、善巧寺開基五百

秋の法要に就いて

年、深教院俊夫法師五十回忌、和晃院妙深法尼五十回忌、雪華院釈隆弘法師一周忌を、善巧寺本堂に於て勤修することに致します。

善巧寺第一世慶祐法師は、善巧寺の開基で延徳元年、一四八九年に亡くなっています。私達の初代住職です。深教院俊夫法師は、私の父親に当り、「博士の御院はん」と門徒の方に慕われ、明教院の百五十回忌を営み、離れや土蔵を建てた人です。和晃院妙深法尼は、私の母親で、三坊守として住職を助け、六人の子供を育て上げた人です。次に雪華院隆弘法師は、皆様もよく御存知のように、現住職を助けて明教院二百回忌法要、本堂屋根の改築、多方面に亘る教化事業に当って来た人です。此の秋に勤める法要は善巧寺にとって大きな意味を持つものと考えられます。皆さんと御一緒に厚い心で勤めましょう。

お浄土から初代の住職、善巧寺の開基上人も御出でになります。前住職、前坊守も御出になります。そして、若はんもいらっしやいます。皆さん、是非此の仏国土におまいりしましょう。

住職 雪山俊之

雪華と 善巧



雪華院
釈隆弘

のびよ のびよ
ぐんぐん のびよ
わかめの ように
すつくりと
ほとけの こどもは
ひかりに そだつ

「ちかごろの若いものは寺にまいることを知らない」となげいておられる方があります。本山の参拝部長は、そんな方に次のように問われます。

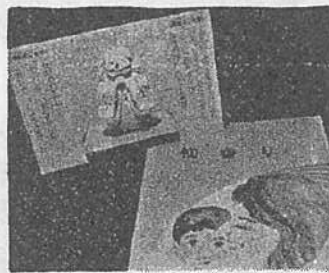
「あなたは毎日欠かさず仏だんにおまいりしてますか？ そして毎月、こどもや孫をつれてお寺参りをなさっていますか？」

ハイ、と答えられなかったら、少しは反省してみましようということでしょう。まことのみのりを聞きひらく身にならせていただくには、やはりこどものときからの「お育て」逆にいえばしつけがなくてはなりません。

善巧寺では、そんなことから、仏のこどもを育てようとして、五月一日、お講の日に「初参式」を行

花いっぱい初まいり

います。西欧ではこの式をしない名前がつかないというところもあるほどで、人生の第一歩を踏み出すにあたっての大事な行事です。当日はあさからお講のおつとめがあり、食事をいただきます。あと、初参式を行います。勤行、初参章の拝読、そし



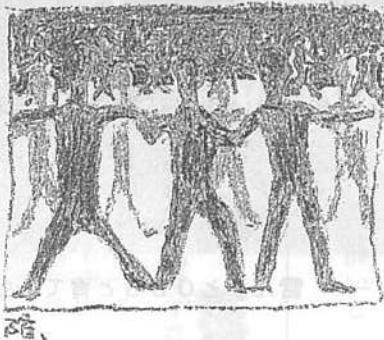
て法話のあと、赤ちゃんにはステキな初参りの小冊子「合掌人形」そして小学校前のお子さんには、人形とスタンド式の食前食後のことばなどをプレゼントします。



善巧寺の若はんがなくなつて半年。みなさんのおかげで、善巧寺も今まで通りの活動を続けていますが、何といつても若はんの業績はあまりにも大きく、有形無形にどれほど多くのものを私達にのこしていつてくれたことでしょうか。

花の誕生会

上記の記事は昭和五十二年、四月一日、寺報「善巧」第二号に掲載されたものです。こうして善巧寺の「花の誕生会」は十五年前の五月一日にはじめられました。



あらゆる人々と
共に生きていく
こ水をこ水を
忘れたもうは

をモットーに、今では全国にも知られる毎年のお楽しみ行事になりました。四月末の連休の前後に、門徒の方のチュリップ畑が満開になります。球根を太らせるために花はつんでしまふのですが、これをたくさんいただいてきて、寺の御堂を「花御堂」にできたという隆弘師の願いがみごとに実現しました。浦山新の浦滝友一さん、板屋の嶋田勲さん、上野の故板川勘太郎さんたちにお世話になりました。本堂も境内も花いっぱい。十数万個のチュリップに囲まれて、おしゃかさま、しんらんさま、おじいちゃん、おばあちゃん、おとうさん、おかあさん、生きとし生けるものみなすべての誕生を祝う一大ページェントになりました。

若はん今も布教中

好評絶賛

隆弘師の著書

「ブッド・バイ」

百華苑 八〇〇円

「煩惱カルタ

本願カルタ」

百華苑 八二四円

「お茶の間説法」

百華苑 一、二二六円

「続・お茶の間説法」

百華苑 一、二二六円

「続々・お茶の間説法」

百華苑 一、五四五円

「雪ん子劇団」

菅野印刷 一、八〇〇円

新川地域発展賞決まる

4日 特別賞に故雪山氏



新川地域発展賞は、本年の「新川地域発展賞」に、特別賞に故雪山氏（故人）が選ばれた。雪山氏は、新川地域の発展に多大の貢献をされた。賞状は、4日、新川地域発展賞委員会より、雪山氏の遺族に授けられた。

ドキュメント
とやま物語
活動に情熱を注いできた年
カ日法要も終わり、雪山子
の教室「雪山子劇団」を
【雪山前8・30】こと
昨年九月に直島さんが再訪
結成するまで、地域の文化
た。俳優の川津祐介が、百

雪ん子劇団 活動再開
遺志受け継ぐ妻玲子さん



和子さんは、雪山子（故人）の遺志を受け継ぎ、雪ん子劇団を活動再開させた。玲子さんは、雪山子さんの遺志を受け継ぎ、雪ん子劇団を活動再開させた。玲子さんは、雪山子さんの遺志を受け継ぎ、雪ん子劇団を活動再開させた。

文化
「雪ん子劇団」の雪山玲子さん講演

末期患者の人格尊重を

雪山玲子さんは、末期患者の人格尊重をテーマに講演を行った。雪山玲子さんは、末期患者の人格尊重をテーマに講演を行った。雪山玲子さんは、末期患者の人格尊重をテーマに講演を行った。

生き続ける雪山さんの魂

雪山玲子さんの魂、生き続ける。雪山玲子さんの魂、生き続ける。雪山玲子さんの魂、生き続ける。



「あえてよかった」 パワフル法話 高田派本山での法話ビデオ 五千五百円

「仏陀・バイ」 KNBテレビドキュメント 四千五百円

「芝居の聞えてくる寺」 KNBテレビドキュメント 四千五百円

「お寺の劇団雪ん子たち」 親の目子の目放送ビデオ 三千円

若はんのあの声・あの笑顔 ビデオ・テープ在庫あり

著書を生の声で。

「お茶の間説法」 全四巻

「続・お茶の間説法」 全五巻

「続々・お茶の間説法」 全四巻 各セット共 三千円

「煩惱カルタ 本願カルタ」 全二巻 二千円

「逢えてよかった」 一巻 千三百円

春

お寺座。平安。善巧寺

若手トリオ 新学期

卒論「恵心尼聞書における

ます。

親鸞聖人の呼称、レポート「歎異抄の性格」などを書いてめでたく武蔵野女子大学を卒業した長女有花は、四月から会館のハートスポットブラッサムに就職します。これまでもお手伝いはいしていましたが、本腰を入れて善巧寺の寺務にあたるわけで、いささか緊張気味。まずワープロをマスターし、煩雑な寺務を合理化しようとはり切っています。



住職夫妻・法輪寺・照行寺・門徒の方々、さらには善巧寺応援団……たくさんの方々に支えられて、善巧寺若手トリオは新学期を迎えて新たなスタートをきりました。

雪ん子劇団の指導にもあたり、お寺の学校の子供たちの勉強をみたり、卒業生の相談事にも応じます。お講やお寺まわりの時どろぞハートスポットにお立ち寄り下さい。さわやかな笑顔でおもてなしすることでしょう。

お寺の仕事の他にも、町の福祉協議会の「声の広報うなづき」のテープ吹きこみ、さらにはK N Bラジオのレポーターとして、四月五日から金曜日午後二時「クローズアップにいかわ」でお耳にかかるとい。

ばっています。若いエネルギーを存分に発揮して、広く学んでほしいものです。

雪ん子 OG

として初出演

お寺に地域にマスコミにと欲

子劇団春の定期公演では、「桃

次郎の冒険」が上演されました

が、今はなき父のあとをうけ、

紙芝居屋の役を演じました。本

人は緊張しっぱなし、終わったら

全身の力がぬけてしまったそう

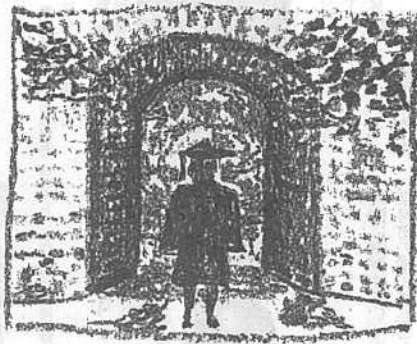
ですが、評判は上々。OGが現

役の雪ん子とお芝居をするとい

うのは劇団史上はじめてのこと

で、劇団としても、今後の広が

りを期待させました。



有花
門をくぐって
世界を
見たまえ。
H22.2.6
父



歎異抄の性格(序)

武蔵野女子大学四年

雪山 有花

一冊の本を読むとき、その本の性格をよくつかんでおけば、理解しやすいと先生はおっしゃった。そういえば、私には以下のような記憶がある。寺の娘なので、本堂での説教を聴聞するようにと、小さい時からよくいわれた。宗祖親鸞聖人の祥月命日の「御正忌報恩講」や「永代祠堂会」「報恩講」などに出ておつとめのあとの二席、それも朝、昼、夜と連続で一週間もあることもある。

で、もう私の寺へ五十年も出講しておられる老僧のお話の中で、全部覚えていたのではないのだが、とにかく一週間のはじめと終わりを聞いていたら「正信偈」とは、というお話で、結局「正信偈」という親鸞聖人の著作の性格、つまり、題名の意味だけだったことに、おどろきを感じたことがある。

いま「歎異抄」を拝読するとき、ただ聖人の肉声が伝わってくるような文章におられることなく、もっといえば、名所旧跡のように名セリフだけを読みかじるのではなく、この著作の性格、構成、題意を前もって、学んでおくことが本文理解のために大いに役立つであろうことを先生のお言葉と、幼い頃の私自身の思い出とを重ね合わせて思うことである。



長男 俊隆

住職への道ちやくちやくと

京都での生活も今年で三年目、仏教コースも順調にすすんでいます。勤式も良い点数をもらいました。今年の一月十四・十五

日は入学試験のため学校はお休みでしたが、仏教コースは、お休み返上で、午前九時から午後五時まで勤式の修礼。住職の資格をとるための集中講義を二月二日から二十三日まで毎週土曜日にうけました。

「平安に入って本当によかったよ。この集中講義は得度とも内容のだぶるところがあったので理解しやすくして充実した講義をうけることができた。」とよろこんでいます。

三月二十日の総代会から二十四日の雪ん子劇団の公演までの間帰院して、その間、お葬式、上法事、自宅法事と、連日、住職について寺役をつとめ、壮年会の方々にも今後の協力をお願いしたりと多忙な一週間でした。

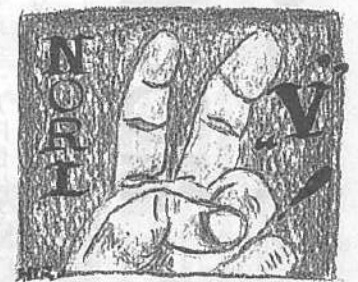


俊隆 がんばってまわろ？
お父ちゃん、俊隆のがんばり、俊のやさしさを俊の笑顔が大好きです。お父さん、がんばってまわろ？

父

次男 教隆

この夏得度を決心



教隆 Vを
めざして
がんばれ父

次男教隆は、高校二年生、長男が京都にいる為、住職を助けての寺役を一手にひきうけています。お経の会、花の会のお勤めはもちろん、門徒さんのご法事にも出勤。早く住職代理ができるようにと、予定を二年ほど早めて、今年七月得度をうけると言い出しました。

実は父隆弘が最後の入院をした時、お浄土にむかう父にすばらしいプレゼントをしたのです。

呼吸困難で集中治療室のベッドに寝ている父が、突然、「おまえたち、いい話をしてくれ」と言い出した時です。若坊守は「あえてよかった」の話を、長女はこの夏、寺の仕事・父の仕事を手伝って自分も父もよろこんだ話を、長男は得度をして父によろこんでもらった話を各々涙を

こらえて伝えました。そして最後になった教隆は「お兄さんの得度披露法要の時、お父さんみんなもすすごくよろこんでいていいなと思った。ぼ

テレビ家庭教育番組
「親の目の目」
『さよならの贈りもの』
父隆弘は子供たちに何を伝えようとしたのか。長男俊隆の得度を中心に別れを前にしての父と子の感動のドキュメント。

照明寺の次男、巧くんは中央仏教学院を卒業後、山口県のお寺で寺役のお手伝いをしていましたが、四月からは浦山に帰り、お父さんの仕事を手伝うことになったとか、にぎやかになりました。若い力に期待したいものです。又、末娘一英さんは六月十五日に挙式されます。

	4/29 AM10:30	5/1 11:00	11:15	5/3 10:30	11:00	5/5 7:00	8:00	10:00	11:00	5/6 7:00
北海道・東北地区	北海道放送 青森放送 東北放送				岩手放送	秋田放送	福島テレビ	山形放送		
関東・中部・関西地区	テレビ朝日 名古屋テレビ放送	北日本放送 北陸放送 福井放送 信越放送 山梨放送 静岡放送	毎日放送					新潟放送		
中国・四国地区		四国放送 高知放送 南海放送		日本海テレビ放送 中国放送 西日本放送				山陰放送		山口放送
九州地区				大分放送	RKB 毎日放送			長崎放送 熊本放送 宮崎放送 南日本放送	沖縄テレビ	

善巧寺開基
500年
前住職 前坊守 **50** 回忌
平成 3 年 勤修

五百年前に門徒の方々が熱い心で建てられたこの善巧寺を未来へ伝える為に、次の代へと法の灯を伝えてゆこうと建設された鐘楼と門徒会館は、門信徒のみなさんの協力をえて立派に完成しました。

善巧寺の「ごねんきさま」ともいえる今度の大法要は、九月二十九日曜日と決まりました。午前中に雪華院釈隆弘法師の一周忌が、午後からは五〇〇年、五〇年法要が営まれます。

実行委員会は四月に発足され、各担当の世話役は、七月から具体的に動き出すことになりました。法要の規模、時間など詳細についても、その頃に決定されます。尚、懇志の受付けの方は終了したわけではありませんが、少しでも、少しずつでもお願いいたします。業者への支払いはすませたというもののまだ一部を借入れしている状態であり

春の総代会

3月20日



善巧寺の春の総代会は京都から長男俊隆もかけつけて、三月二十日開かれました。仏参のあと住職があいさつ。「二年度の寺の報恩講まわりには、二年間ごぶさたしていた善巧寺から若坊守が、法輪寺、照行寺とおうかがいし、無事に終えることができました。また記念事業の懇志もご協力いただきありがたいことであります。未納の方も、今後できるだけのご協力をお願いしたい。また、秋に迎える五百年の法要についても是非ご協力を」とお礼とおねがいをのべました。続いて二年度の決算報告と、三年度の子算案が報告され、審議、承認されました。

二年度事業報告及び決算

若院の死、お葬式と、善巧寺にとっては思いもかけぬ悲しくつらい年でありました。が老住職、若手二人が力をよせ合い、法輪寺、照行寺の助けをかりて、何とか例年通りの行事をつとめられ、さらに門徒法事に至るまで滞りなくつとめられたことはありがたいことでした。

ところで決算の方は前年度以上の縮小予算通り、何とかぎりぎりの線におさまりました。

三年度予算

三年度もほとんど前年度と同じ予算にして、門徒さんへの負担の少ないようにと考慮されました。ですから寺の従事者の給与は六十二年度から四年間据えおきのまま。

長女有花の就職については、新入社員並みとはいきませんが、せめて十万円位はということになりました。

太子会 3.13



三月十三日、聖徳太子のお徳をしのんで太子会が営まれました。建設に関する専門的な意見を伺って寺の護持発展の参考にさせていただくこの会には、大教工務店の大数守さんの参加をえて、会館への渡り廊下、旧事務所の雨もりなどについて、専門家の意見をきかせてもらいました。

おわびとおねがい

法要特別会計の中間報告では門信徒懇志志納者五九一名、懇志総額六千百万円、支払総額七千万円、借入金九百万円、そして法要費四百五十万は預金(三月二十日現在)してあることが報告されました。未納の方へのおねがいは、門徒報恩講中と、終了後の二回、出させていただきましたが、中にはすでに納められた方へもお願い状が発送されてしまい、大変ご迷惑をかけました。深くおわび申し上げます。

この後も、少しでもお仲間入りをしていただきたいという思いから、再度お願い状をお出しすることもあるかと思いますが、寺の心をおくみとりいただき、よろしくお願いをいたします。

善巧寺開基五〇〇年 法要は
前住職・坊守五〇年 九月二十九日に

午前
雪華院釈隆弘法師
一周忌法要

午後
開基五〇〇年
前住職五〇年
前坊守五〇年
記念法要

二年度善巧寺一般会計決算報告

	(収 入)	(予 算)	(決 算)
1.	繰 越 金	36,000	36,000
2.	布 施 収 入	8,700,000	8,692,026
	門 徒 法 要	7,350,000	7,312,000
	年 中 行 事	800,000	929,500
	賽 銭	350,000	330,526
	雑 収 入	200,000	120,000
3.	会 費	3,900,000	3,900,000
4.	特 別 懇 志	0	0
5.	雑 収 入	64,000	20,000
	合 計	12,700,000	12,648,026

(支 出)		(予 算)	(決 算)
1.	人 件 費	6,600,000	6,150,000
2.	運 営 費	4,150,000	4,502,512
	法 要	1,200,000	1,595,890
	教 化	900,000	883,154
	寺 務	900,000	843,640
	車 費	600,000	829,328
	会 議	300,000	174,700
	接 待	200,000	175,800
	雑 費	50,000	0
3.	維 持 費	1,565,000	1,742,428
	宗 費	550,000	532,700
	営 繕	850,000	1,057,613
	保 険	165,000	152,115
4.	予 備 費	385,000	0
	合 計	12,700,000	12,394,940
		* 差 引 +	253,086

三年度善巧寺一般会計予算

(收 入)		
1.	綠 越 金	253,086
2.	布 施 收 入	8,700,000
	門 徒 法 要	7,350,000
	年 中 行 事	900,000
	賽 錢	350,000
	雜 收 入	100,000
3.	會 費	4,000,000
4.	特 別 懇 志	500,000
5.	雜 收 入	46,914
	合 計	13,500,000

(支出)			
1.	人件費	6,900,000	
2.	運営費	4,500,000	
	法要	1,200,000	
	教化	900,000	
	寺務	900,000	
	車費	900,000	
	会議	200,000	
	接待	200,000	
	雑費	200,000	
3.	維持費	1,900,000	
	宗費	890,000	
	営繕	850,000	
	保除	160,000	
4.	予備費	200,000	
	合計	13,500,000	

三月八日 小雨

横濱市緑区松風台にて。昨夜は娘の家に泊った。此のあたり、昔は丘が連つた台地だったのが、土地開発の流れの中で、広大な住宅地帯となり、娘一家が此処に移つたのが八年前だ。田舎の駄々っ広い家に住んでいる者には玩具おもちゃの様に見えるが、これで子供三人、夫々自分の部屋を持ち、私が泊れる和室六畳もあり、形ばかりにせよ庭もついて居る。朝七時半から一時間は戦場のよう**に**忙しい。主人は会社へ、小四、中二、高一の男の子は夫々学校へ。朝御飯を食へさせ、弁当を作り、一同出払つてほつとする。近所の梅林に見頃の花を見に出かける。娘の運転で、車は最近求めたアウディ80。帰ったのが十一時半。高一の長男は

折柄、学年末試験の最中で家に帰っている。一緒に昼食。午後には居間の炬達でゴロ寝。

二時から近所の四十台の主婦三名二階に集って来る。趣味の手芸の会で、パッチワークキルトと云うそうだ。

晩御飯は娘の手料理。私の好きなそばめがある。

戦日記



先生から聞いた由。娘はアラブの民俗衣裳一式もお土産に買ってきている。アラビヤ語で書いたコーランを見せてもらう。今度の戦争報道を通じてアラブの宗教のこと、人間のことが関心をひいて、直接アラブ人を知っている娘たちの話は興味深い。アラブ人の店に

と夫々にまたがつている子供たちも、今の時代の影響で、塾通いらしい。小学生の塾は週四回、午後五時から弁当持ちで八時半迄みっちり仕込むらしい。本人が自発的に行くと云い出したのだから永続するだろうと娘は言う。九時入浴。就床。

田舎住いの人間が覗かせて貰った都会の現代模様の数々だった。

此の一家は、去年迄
サウディアラビヤに住
んでいたので、食事中
の話題は今度の戦争の
ことになる。子供達も
新しい兵器のことは詳
しい。日本人学校の先生が今、
日本に帰って居り、空襲警報下の
リアドで見たスカッドミサイル
やバトリオットの話を、電話で

買物に行ってもお祈りの時間に出会うと突然電燈が消え、アラブ人たちは持参している敷物を敷いてひざまずく。その熱心なことには驚く他ない。

食事が終って別室で雑談。話は、子供たちの学校のことになる。小学校、中学校、高等学校



住職日記

老翁の案内役や
梅の園

傘寿老手折り
棒けん梅の枝

— —
— —
□ □

お講・東狐・上野
お寺座・野休み落語会

扇橋、柳家小三治、九治
ゲスト 斎藤京子

内海好江
会費二千元

お講・音沢

寺
こよみ

五月

お講・音沢

本山団体参拝

お講・音沢

寺
こよみ

六月

— —
— —
□ □

お講・東狐・上野
お寺座・野休み落語会

扇橋、柳家小三治、九治
ゲスト 斎藤京子

内海好江
会費二千元

お講・音沢

雪ん子劇団に『正力賞』

男先生の教えを守り ますますさかん

本年度の『正力賞』に雪ん子劇団が選ばれました。これは故正力松太郎氏が設立された全国青少年教化協議会から、その宗教的、文化的活動の顕著な一個人、一団体に与えられるもので、雪ん子劇団は昭和六十一年に二十五周年表彰を受けています。四月十一日の読売新聞、日本テレビで発表されます。受賞式は六月十三日東京で。

雪ん子劇団は、二月十日、庄東小学校で公演、五年がかりの砺波市全部の小学校めぐりの最後をかざりました。その一ヶ月後、砺波市教育委員会から四人の方が感想文を届けて下さって「一年から六年生までの子らに共通の興味と感動を与えられるのは雪ん子劇団しかない、今度は女先生シリーズでもうひとまわりしていただませんか」とうれしいご依頼をうけました。



また三月二十四日には、「お寺座Ⅱ」で春の定期公演が行われ、熱気あふれる雰囲気の中、あつい拍手がいつまでもなりひびいていました。このあと、六月には富山県母親クラブ大会、八月は新潟母親クラブ大会、九月は砺波市での公演が予定されています。今年も雪ん子達は、各地で男先生の心を力いっぱい伝えてきます。



白鶴会

白鶴会総会は三月十六日に開かれ、平成二年度の活動と決算、三年度の計画について話し合われました。八月二十五日に行われる黒西組仏通連盟第一回大会ではちらし寿し百ヶのお手伝い、そして九月二十九日の善巧寺開基五百年法要では全面的協力をすることなどをとり決めました。その後、行信教校出身、原広道先生の熱のこもった法話をお聴聞しました。

合 掌

春がめぐってきました。今年もまた、芽を吹き、花を咲かせる樹々をうらやましく眺めることです。

例年通り四月二十一日には、花の誕生会、六月十一日には野休み落語会を開催します。生きとし生けるものの誕生を祝いながらお浄土の方々をしのび、落語で笑いながら、今生かされていることを感謝しましょう。

ご 寄 進



「いつもお説教をきかせていただいている時、うちのお寺にも、もつといってお説教があったらいい、なと思っていました」と田中まつ子さん。弟さんで建設業の岡田俊夫さんに相談したところ、「ねえさんのたのみなら」とこのほど、紋入りの立派なお説教台を作ってくださいました。

本堂雪囲い



岡田寛兵衛さん、野畑市右衛門さん、本波貫一さん、小林久吉さん、岡田実さん、野畑松二さん、岡田実さん、野畑松二さんが本堂の雪囲いをして下さっていました。音沢のおばあちゃんにずっとお願いしていた資がいよいよなくなつて、残念ながら、シートに代えることになりました。大藪工務店のお世話での紋入りの白いシートも、本堂の尊厳を損わず良いものになりました。お三方、長い間本堂にありがとうございました。

花の会サロン・ド・ブンカ

善巧寺花の会は久々のサロン・ド・ブンカ。三月十五日、ショパンコンクール第五位入賞の高橋多佳子おひろめコンサートで、春の宴、華麗なピアノに酔いました。



ご門徒の女性の方々、こんな楽しい催しに一緒に参りたいませんか。入会資格は参加したいというお心だけ。いつでもどうぞ。

野 休 み 落 語 会

ゲストに民謡の斎藤京子さん・漫才の内海好江さん



恒例の「六輔七転八倒野休み落語会」は今年も夢を語る会のお世話で、六月十一日午後七時半、本堂『お寺座』で開催されます。出演はおなじみ永六輔さん、入船亭扇橋師匠、柳家小三目。

正力賞受賞の電話をうけた時「昨年だったら二人で手をとって合つて大さわざできたのに」とよろこびと悲しみが交錯しました。若と二人でやってきた雪ん子劇団が宗教的文化的活動として、全国区で認められたことはうれしい限り、これから続けていく上にも、大きな力をつけてくれました。どうか共により喜んでください。

おみのりの中に五百年守られてきた善巧寺、その善巧寺を守りつづけていくために、ごえはんががんばれ、若手トリオががんばれ。善巧寺を愛するみなさん、あたたかい心と力をおよせください。

